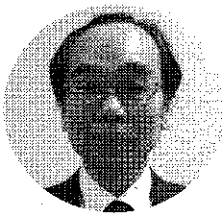


# 社会基盤維持で貢献

## 役割担う人材を養成

日本コンクリート診断士会会長 林 静雄



高度成長期に建造された膨大な数の社会基盤の老朽化が喫緊の課題となっている一方で、環境負荷を低減してサステナビリティ

(持続可能)な社会を実現することが求められている。日本コンクリート診断士会は、社会基盤の状態を診断して適切に維持管理する役割を果たしており、その役割を通じてサステナビリティの実現に貢献している。

当会は、日本コンクリート工学会(JCI)の趣旨に賛同して参加を決めた。診断士は国民が安

全・安心に生活しているように社会基盤を維持管理していくという役割を担っている。

既設の社会基盤を安全・安心に継続して長期間にわたり供用していくということはまさにサステナビリティそのものであり、省資源・省エネルギーの観点から見ると究極のリサイクルと言える。診断業務を通じて直接的にサステナビリティに貢献

していく。また、当会のホームページには会員各社の保有技術紹介コーナーを設けている。会員であれば自由に閲覧が可能で、技術の普及につながるようになっている。これからコンクリート診断士の資格取得を目指す人に向けては、受験対策講座を開

き、さらなる技術の向上・研鑽を図っている。診断士がサステナビリティの実現において役割を果たすには社会で信頼される地位を築く必要があると考えている。安全と安心という言葉があるが、安全は技術の進歩で対応できる。しかし、安心と信頼の確保につながるものと思っている。当会としてはサステナビリティという言葉

していく。具体的な活動としては、サステナビリティ宣言の趣旨に沿ったかたちで役割を担うことができるように人材の養成に努めている。会員に向けては定期的な技術セミナーの開催や現場見学会などを開き、さらなる技術の向上・研鑽を図っている。

また、当会のホームページには会員各社の保有技術紹介コーナーを設けている。会員であれば自由に閲覧が可能で、技術の普及につながるようになっている。これからコンクリート診断士の資格取得を目指す人に向けては、受験対策講座を開

き、さらなる技術の向上・研鑽を図っている。診断士がサステナビリティの実現において役割を果たすには社会で信頼される地位を築く必要があると考えている。安全と安心という言葉があるが、安全は技術の進歩で対応できる。しかし、安心と信頼の確保につながるものと思っている。当会としてはサステナビリティという言葉

は安心を得ることはできない。安心を得るためには社会に信頼される存在とならなければならぬ。診断およびそれに基づく補修・補強は専門的なものであり、専門知識のない一般市民はどうか対応することが適切なかを判断することは難しい。当会

を「持続、メンテナンス」という言葉に置き換えて考えている。今後は社会的に信頼される診断士の養成を通じて、安全・安心で長寿命な社会基盤を実現し、サステナビリティに貢献していきたいと考えている。

